

## 2024 年度春季大会報告

### チャレンジ支援委員会「わかばさんいらっしゃい」報告書

チャレンジ支援委員：天野、岩下、佐々木、末松、杉本、吉川  
2024 年 5 月 25 日(土) 12:00-13:00 オンライン開催

「わかばさんいらっしゃい」が大会1日目の12:00-13:00にオンラインで開催されました。初めて大会に参加する方などを「わかばさん」と称し、大会参加の不安を取り除き、大会を楽しむコツを押さえ、「わかばさん」同士のネットワークを築く機会の提供を目的に行いました。

4月下旬からYouTubeで「わかばさん」向けのオリエンテーション動画を公開し、大会の概要、参加登録の方法、視聴する発表の選び方、予稿集の活用、質問の方法などについて、「わかばさん」に紹介しました。この動画は大会開始までに262回再生されました。

大会当日の「わかばさんいらっしゃい」には、日本語教育に関わり始めたばかりの方や、大会参加が初めての方、研究を始めたばかりの方など、9名の「わかばさん」が参加してくださいました。まず、事前動画の内容を簡潔に復習した後に、質疑応答の時間を設けました。

その後、参加者は3名からなるグループに分かれ「わかばさん交流会」を実施しました。約40分間に、大会参加の目的、一番聞きたい発表、現在取り組んでいる研究テーマや教育実践上の疑問、大学院進学について、就職のことなど多岐にわたる話題について語り合いました。大学院生をはじめ、フリーランスで日本語を教えていらっしゃる方、企業の方、海外在住の方など、多様な背景をお持ちの方が集まり、対等な関係で意見交換や情報共有を行いました。

「わかばさん交流会」について参加者による事後アンケートでは、ご回答くださった方全員から満足であったという回答をいただきました。「普段関わらない人と交流できた」「偶然大学院を終えられたばかりの人がいて、知りたいことを知ることができた」「別の大学院生や海外にいる人と繋がれた」のような意見があり、参加者各自がそれぞれの目的を達成された様子がうかがえました。また、「少人数で密度の高い会話ができた」「もう少し時間があるとよかった」といったような、交流が密に行われたことがうかがえる記述もありました。プログラム上、交流時間を延長することは難しいですが、「わかばさん交流会」の時には腹八分目で終えていただいて、その後、学会が用意している「交流の部屋」に誘導するなどすれば、「わかばさん交流会」で生まれた交流の芽がより育つのではないかと感じました。わかばさん同士のその後の交流につながるような工夫も、今後の検討課題です。



アンケートの自由記述の中に、「参加すべきかどうか悩んでいましたが、大正解!でした」というものがありました。初めての学会参加や交流会参加には勇気がいるものです。思い切ってその一歩を踏み出して参加してくださった方がいたことは、委員の励みになります。今後も多くのわかばさんが最初の一歩を踏み出してくださることを期待しています。